

授業科目 義肢実習 III (大腿義足実習)

【担当教員名】 東江 由起夫、月城 慶一、前田 雄、 大沼 雅之、加藤 博務		対象学年 3	対象学科 義肢
		開講時期 前期	必修選択 必修
		単位数 4	時間数 120
【ディプロマポリシーとの関連性】			
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度
◎	◎	◎	◎
【概要・一般目標：GIO】 安全で適合した大腿義足を製作するために、カルテの記入方法、切断端の観察方法、切断端の評価方法、採寸採型技術、義足の組み立て技術、義足部品の種類や機能、ソケットの適合技術、アライメントの設定方法等の基礎的な知識や技術について、実際の大腿義足の製作を通して体得する。			
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 本科目の全体的な概要と評価内容、評価方法を理解している。 2. 大腿切断者とコミュニケーションを図り、必要な情報を聞き取ることができる。 3. 製作に必要な情報、断端の評価、採寸等を実践し、カルテに記入することができる。 4. 採型及び陽性モデルの修正を行なうことができる。 5. 大腿義足の部品を適切に扱い、組み立て調整することができる。 6. 大腿義足を適切に装着し、ソケットの評価と適合、アライメントの評価と調整を実践することができる。			
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ガイダンス	1	説明
2	健常者歩行と大腿義足歩行の分析	6	実習
3	四辺形ソケットの製作（採寸・枠型の設計・枠型適合）DEMO モデル：健常者1名	2,3	実習
4	四辺形ソケットの製作（採寸・枠型の設計・枠型適合）演習 モデル：学生	2,3	実習
5	四辺形ソケットの製作（採型）DEMO・演習 モデル：学生	2,3	実習
6	坐骨収納型ソケット製作（採寸・採型：断端評価・カルテ記入）DEMO モデル：大腿切断者1名	2,3	実習
7	坐骨収納型ソケット製作（採寸・採型：断端評価・カルテ記入）DEMO・演習 モデル：学生	2,3	実習
8	坐骨収納型ソケット製作（採寸・採型：断端評価・カルテ記入）DEMO・実践 モデル：大腿切断者12名	2,3	実習
9	陽性モデル修正（削り修正）DEMO・実践	4	実習
10	陽性モデル修正（盛り修正）DEMO・実践	4	実習
11	チェックソケットの成形・トリミング DEMO・実践	5	実習
12	チェックソケットの埋め込み・組み立て DEMO・実践	5	実習
13	組み立て（ベンチアライメント）DEMO・実践	5	実習
14	仮合わせ（ソケットの評価方法と適合、アライメントの評価方法と調整）DEMO モデル：大腿切断者1名	2,3,5,6	実習
15	仮合わせ（ソケットの評価方法と適合、アライメントの評価方法と調整）実践 モデル：大腿切断者12名	2,3,5,6	実習
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	義肢学 第2版	日本義肢装具学会／監修、澤村誠志／編	医歯薬出版株式会社 2010・8,600円＋税
	義肢製作マニュアル	日本義肢装具士協会／監修、田澤英二／著	医歯薬出版株式会社 2010・7,600円＋税
参考書	切断と義肢	澤村誠志	医歯薬出版株式会社 2009・7,000円＋税
その他の資料			
【評価方法】 実習レポート80%、態度20%とする。 ※原則、授業の1/3を欠席した者は、科目評価資格を失うものとする。また欠席1回につき-5点、遅刻1回につき-2点、遅刻2回につき-5点を、最終評価から減点する。		【履修上の留意点】 本科目は、「義肢実習3(大腿義足)」と並行して行われる。	